

# 2024 播磨町環境学習バスツアー

1. 日 時 令和6年8月24日（土） 9時30分～17時
2. 場 所 朝来市（多々良木ダム、多々良木川）
3. 主 催 播磨町産業環境課
4. 講 師 ふれあいエコアップ塾
5. 参加者 18名
6. 目 的
  - ・多々良木周辺（朝来市）の水辺の自然を親子で調査研究する。
  - ・上流部と下流部の生き物から、環境の違いを親子で観察する。
  - ・身近な水辺の外来種学習と啓発。



## 7. 活動内容

### 多々良木ダム



### 多々良木ダム

国内最大の揚水水力発電用のダムで、上流の黒川ダムと導水管で繋がっている。また市川と円山川の異なる水系（分水嶺）を利用し、約400メートルの有効落差により水力発電（奥多々良木発電所）を行っている

## 多々良木フォレストリゾートでの環境クイズ



【環境クイズに挑戦】



【大人も子供も楽しんで学習】

# 播磨町



外来種

かんきょう

# 環境クイズ

### ★環境クイズで学んだ事

- ①播磨町で外来種を駆除しているため池
- ②ミシシippアカミミガメはどこの国の生き物
- ③播磨町でナガエノツルノゲイトウを駆除している川
- ④外来種が日本に来た順番
- ⑤世界の侵略的外来種ワースト100の日本の植物



【外来種クイズは超難問！】



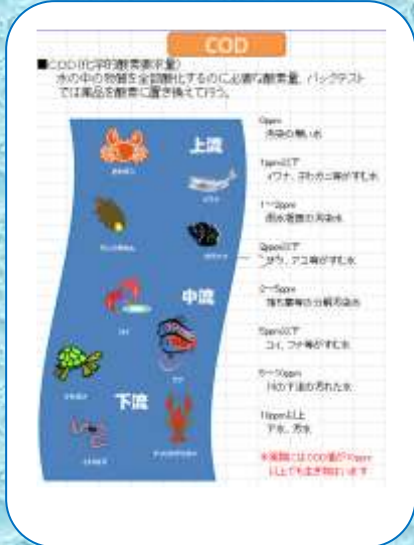
【子供たちもノリノリ！】

# 水質調査



## ★簡易水質調査★

パックテストで川の水質を測りました。



## 水辺の生き物観察



### ★観察出来た生き物

- ・サワガニ、カワニナ、ヨシノボリ、シジミ、カワムツ、オケラ等



ゲンジホタルの幼虫

## 環境学習のレクチャーと交流



【レクチャーする産業環境課の職員】



【食事をしながら、交流を深めました】

## 8. 環境学習エコツアーで学んだ事

播磨町



【喜瀬川】

朝来市



【多々良木川】

- ・簡易水質調査による上流部と下流部水質の違い。
- ・水力発電やダムでのエネルギーの大切さ。
- ・親子で自然や環境を視覚や体験で学習。
- ・身近な生き物から、命の大切さを親子で学習。
- ・身近な外来種の学習と世界の外来種。
- ・播磨町のような都市部との違いも学習。
- ・水辺の安全学習。



## 9. 環境学習バスツアーアンケート結果（回答数7件）

### ①. バスツアーを何で知りましたか？

・ホームページ 2件・ライン 3件・ともだちに聞いて 0件 その他 2件（チラシ）

### ②. バスツアーは楽しかったですか？

・楽しかった 6件 ・ふつう1件 ・楽しくなかった 0件

### ③. 何が楽しかったですか？ひとつだけえらんでね！

・川あそび 6件 ・多々良木ダム 0件 ・バスの中 1件 ・その他 0件

### ④. 来年もバスツアー行きたいですか！

・めっちゃ行きたい 5件 ・内容によっては行きたい 1件 ・行きたくない 0件  
・その他 1件（行けたら行きたい）

環境学習バスツアーアンケートランキング		1位
バスツアーを何で知りましたか？	ライン	3件
バスツアーは楽しかったですか？	楽しかった	6件
何が楽しかったですか？ひとつだけえらんでね！	川あそび	6件
来年もバスツアー行きたいですか！	めっちゃ行きたい	5件

## 9. 参加者の感想やご意見

★鴨川シーワールドに行きたい。水辺の生き物じゃなく、反対に陸の生き物を見たい。

★すごく楽しかったです。水生生物を探すなんて、親子だけでは中々出来ないのも、とてもありがたかったです。バスで出かける事もほぼ無いので、それだけで楽しかったです。虫とりなんかもさせてもらえたらいいなと思います。

★バスの中できれいな景色を見たい。森の探検。

★またあったら、行きたいです。楽しかったです。

★泳ぎたい。虫とりしたい。カエルをつかまえたい。

★次は虫をつかまえたい。カニのハサミに挟まれて痛かった。

★カニの小さいのは、挟まれた時、痛くなかった。カニの大きいのは挟まれた時、痛かったけど捕まえた時はうれしかったです。貝とかいっぱいありました。川に飛び込んだ時は、ちょっとこわかった。

## 10. 環境学習バスツアー纏め

本年度も、朝来市が運営する多々良木フォレストリゾートを拠点として実施しました。天気は午後から雨の予報になり、急遽、午前中に水中生物観察や水質調査を行いました。

水質調査では、当塾が播磨町の小学校3年生に実施している喜瀬川探検に参加した3年生の子供たちが積極的に実施してくれた事が持続可能な取り組みとして、うれしく感じます。多々良木川では、実際に水の中に親子で入り、川遊びを楽しみながら水中生物観察により、播磨町の喜瀬川の生き物との違い等を比べ、自然な形で親子環境学習が出来ました。町内で校区の違う親子が仲良くなり、楽しみながら学習できた事は良かったと思われます。また、水辺の安全についても、レクチャーし、親子で水辺から、環境だけでなく、水の冷たさ、川の流れ、川の深さ等、体験から水辺の危険も学び取っていたと考えます。特に播磨町内には河川やため池等も多くあり、親子で水辺安全学習にも取り組みました。

また、播磨町の喜瀬川の生き物との違い等を比べ、自然な形で親子環境学習に取り組めたと考えます。多々良木フォレストリゾート研修棟では、産業環境課が、外来生物駆除や啓発にも取り組んでおり、外来種クイズで学習できるように配慮し、親子で楽しみながら学習出来ました。

特に、クイズでは、日本の外来種だけでなく、世界の外来種も知ってもらえる良い機会となったと思います。

更に、播磨町が運営するふれあいの家は残念ながらなくなってしまいましたが、多々良木川は、上流部と下流部を比較する良い環境学習の場となりました。

午後からは揚水型では、日本最大の発電量を誇るロックフィルダム、多々良木ダムの見学を行いました。円山川水系と市川水系の二つの異なる水系の発電ダムの見学と周囲の自然観察を行いました。今回の環境学習バスツアーを通して、機会があれば、播磨町の喜瀬川や近所の公園にも、たくさんの生き物がいますので、家族で散策してみてもいいと思います。

環境学習バスツアーでは、体験する事により環境を学んで頂けたと考えます。知識はその次のステップになります。水辺から何を感じ取っているかが最も重要です。また、水辺では、命の大切さを生き物から学ぶ事も出来ます。一人一人考え方も違いますが、一人の答えが正解ではないのです。環境は、生態系の保全や自然修復、温暖化、ゴミの問題等、難しく考えがちですが、難しい講釈や理論抜きに人と人とのふれあいを楽しみながら、各個人が出来る事を考える事が出来ればと考えています。

次世代の子供たちに誇れるものを残す為に、体験から学んだ事を播磨町の環境に役立つようなバスツアーになれば幸いです。現代の便利な社会の中でなかなか難しい事が多いですが、環境について考えるきっかけづくりになれば・・・。

最後に、産業環境課の皆さん、参加者の皆さんと一緒に環境を学ぶ事が出来て感謝しております。ありがとうございました。また、皆さんとお会い出来る日を楽しみにしています。

『ふれあいエコアップ塾はきっかけづくりやお手伝いが楽しみながら出来れば・・・』

ふれあいエコアップ塾 塾長 藁科文雄